

# 令和 7 年 業種別労働災害発生状況

( 令和8年1月末速報値 )

苫小牧労働基準監督署

区分 業種別	令和 7 年			令和 6 年			対 前 年		業種 割合
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	(%)
全 産 業 合 計	(1) 5	(25) 605	(26) 610	(1) 1	(29) 609	(30) 610			100.0
製 造 業	1	(1) 116	(1) 117		(3) 96	(3) 96	21	21.9	19.2
食 料 品		37	37		(1) 35	(1) 35	2	5.7	6.1
木 材 木 製 品		7	7		9	9	-2	-22.2	1.1
紙 ・ パ ル プ		5	5		(1) 4	(1) 4	1	25.0	0.8
窯 業 ・ 土 石	1	14	15		6	6	9	150.0	2.5
金 属 ・ 機 械		14	14		15	15	-1	-6.7	2.3
輸 送 用 機 械		(1) 12	(1) 12		8	8	4	50.0	2.0
そ の 他		27	27		(1) 19	(1) 19	8	42.1	4.4
鉱 業									
土 石 採 取 業	1	1	2		3	3	-1	-33.3	0.3
建 設 業		(2) 50	(2) 50		64	64	-14	-21.9	8.2
土 木 工 事 業		11	11		12	12	-1	-8.3	1.8
建 築 工 事 業		(1) 22	(1) 22		37	37	-15	-40.5	3.6
木 造 建 築 業		4	4		8	8	-4	-50.0	0.7
その他の工事業		(1) 13	(1) 13		7	7	6	85.7	2.1
道路貨物運送業	(1) 1	(10) 94	(11) 95	(1) 1	(7) 65	(8) 66	29	43.9	15.6
その他の運輸業		(1) 33	(1) 33		(2) 25	(2) 25	8	32.0	5.4
陸上貨物取扱業	1	4	5		9	9	-4	-44.4	0.8
港 湾 荷 役 業	1	7	8		9	9	-1	-11.1	1.3
林 業		4	4		2	2	2	100.0	0.7
漁 業									
卸 売 ・ 小 売 業		(1) 62	(1) 62		(3) 63	(3) 63	-1	-1.6	10.2
清 掃 業		(1) 30	(1) 30		(3) 32	(3) 32	-2	-6.3	4.9
ゴ ル フ 場		10	10		12	12	-2	-16.7	1.6
そ の 他 の 事 業		(9) 194	(9) 194		(11) 229	(11) 229	-35	-15.3	31.8

本統計は、労働者死傷病報告書（休業４日以上）により集計したもの。

( ) 内は交通事故で内数です。

## 業種別労働災害発生状況（その２）

「その他の事業」の内訳

（令和8年1月末速報値）

区分 業種別	令和 7 年			令和 6 年			対 前 年		業種 割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
農 業 業		8	8		14	14	-6	-42.9	1.3
畜 産 業		38	38		55	55	-17	-30.9	6.2
理 美 容 業					1	1	-1		
その他の商業		(1) 8	(1) 8		5	5	3	60.0	1.3
金融・広告業		4	4		(1) 3	(1) 3	1	33.3	0.7
映画・演劇業									
通 信 業		(5) 14	(5) 14		(3) 12	(3) 12	2	16.7	2.3
教育・研究業		(1) 5	(1) 5		2	2	3	150.0	0.8
保健・衛生業		(2) 82	(2) 82		(1) 87	(1) 87	-5	-5.7	13.4
飲 食 店		12	12		(1) 15	(1) 15	-3	-20.0	2.0
その他接客娯楽業 （ゴルフ場を除く）		7	7		11	11	-4	-36.4	1.1
上記以外の事業		16	16		(5) 24	(5) 24	-8	-33.3	2.6
合 計		(9) 194	(9) 194		(11) 229	(11) 229	-35	-15.3	31.8

本統計は、労働者死傷病報告書（休業４日以上）により集計したもの。

（ ）内は交通事故で内数です。

# 令和7年 死亡災害発生状況

( 令和8年1月末速報値 )

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	6	10時台	運送業	~20人	交通（道路）事故	トラック	被災者は、札幌市内から苫小牧市内へ向けて大型トレーラー（最大積載量20トン）による古紙運搬業務中、右カーブにおいて左側の路外に逸脱して横転した。被災者は、運転席の外部へ投げ出され、車体の下敷きとなって死亡した。
2	7	9時台	製造業	~40人	巻き込まれ	クレーン	被災者は、テルハクレーンを使用して、架台に立てかけられていた鋼板1枚を吊り上げようとしたところ、何らかの原因により立てかけられていた鋼板類十数枚が被災者側に倒壊し、倒れた鋼板に腹部を挟まれたもの。
3	8	5時台	貨物取扱業	~40人	飛来・落下	トラック	被災者は、セメント粉が入ったタンクローリ（最大積載量20トン）の荷台上で何らかの作業を行っていたところ、何らかの原因によりタンク上部にある鉄製の注入口ハッチの蓋が飛び、被災者の顔面に直撃したもの。
4	9	18時台	港湾荷役業	~50人	巻き込まれ	フォークリフト	港湾荷役作業現場（ふ頭岸壁内の荷捌き場）において、被災者は伝票をトラック運転手に渡す業務を行っていたところ、後進してきた大型フォークリフト（最大荷重16t）の右後輪に轢かれたもの。
5	12	10時台	土石採取業	~5人	巻き込まれ	コンベヤ	被災者は、砂利砕石プラント構内において、重機による砂利の運搬作業等に単独で従事していた。昼休みになっても被災者が事務所に戻ってこないため、不審に思った事業主が構内を探索したところ、稼働しているベルトコンベヤーのプーリー部分に上半身が巻き込まれている状態の被災者を発見したもの。

## 過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	合計
死亡件数	9	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	1 (1)	47 (7)

死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



### ・災害統計の確定時期について

本資料は令和8年1月末時点での速報値であり、令和7年分（1月~12月末）の業種別災害発生状況については、令和8年3月末に確定予定です。